



問 教育委員会制度の改正をどう思うか

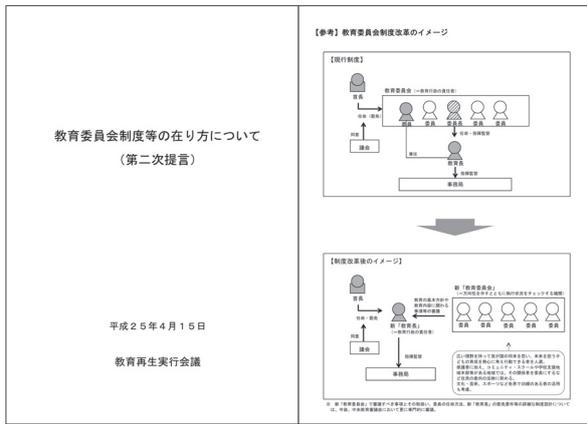
答 現行制度でも工夫・改善で負託に
応えられる

無党派 相沢 一正 議員

議員 改正されようとする制度の内容についてどう認識しているか。

教育長 教育再生実行会議の提言を読み感じたのは、大津市の「いじめ事件」を機に一気に制度を変えようとする拙速な動きだ。道徳の教科化も含め危うさを感じる。次に、首長による教育長の任命ということでは教育の政治的中立性が確保できるか、選挙で首長が替わるたびに教育長が替われば継続的・安定的な教育活動ができるか、それらが危惧される。また、自治体に法令違反があった場合、国が是正を指示できるような権限を強化しようとしている。そこから強制的に国を愛する指導や徳育が出てくる可能性も否定できないということだ。

学校現場で教えてきた教育者として私が大切にしたいことは、歴史が示す通り軍国主義と教育が一体化した反省から生まれた「政治的中立性の確保」。どのような制度改革になるかと、それは絶対に譲れない、堅持すべきことと考えている。



教育委員会制度改革提言のイメージ

問 行政は住民投票の検討をすべき

答 村長答弁は、必要だと考えていますとのこと

光風会 照沼 昇 議員



議員 昨年実施した、住民の意見を聞く意見聴取会においても少なからず要望があったが、原発問題で揺れる東海村は住民投票の必要があるのではないかと。住民投票はどのような場合に実施されるべきか。すべて住民投票で決めるならば村長も議員もいらないということになるが、現在の東海村は原発の廃炉または再稼働や廃棄物の問題などを抱え、村長・議員・住民の全員が五里霧中の状態にあり、村の方向性を決める一手段として住民投票が検討されても良いのではないかと。

総務部長 機運が今以上に高まった時点で判断したい。
総合政策部長 民主主義の根幹を成すものであり、あり得ると思つてい



意見聴取会

一般質問